

令和3年2月10日

南の風 386

南部地区ミニバスケットボール連盟
会長 藤原 敬一

いよいよ 4Q です。

4Qに入る前の東山の大澤ヘッドコーチの指示です。「人に任せるとではなく、自分からやるの。自分がやるのがチームのためなの。人がやるのを待ってどうすんだ。リバウンド、リバウンド、リバウンド、決まらなかつたらハリーバック。シンプルにその繰り返し、あと10分だ。」という内容でした。

入りは両チームともシュートに行くが決まらない。東山の米須選手のドライブショット、西部選手や中川選手のミドルシュートが外れる。明成は山崎一渉選手や山内選手がタイミングよく3P シュートを打つが外れる。先制したのは東山でした。米須選手が右45° からパスフェイクを入れながら、ドライブショットを決めました。直後明成も山内選手がミドルシュートのファウルをもらい、2本決めます。

ここからゲームが動きます。残り7分を切ったところで、山崎一渉選手の3P が決まります。さらに明成のプレスに対して東山がパスミスを犯し、山崎一渉選手がミドルショットを沈め、点差が一桁になります。東山もすかさず米須選手がドライブからフローターショットを決めます。その瞬間明成の 14 番山崎紀人選手が速攻からランニングシュートを決めます。(59 対 51 東山リード)

明成は 1-1-2-1 のゾーンプレスで東山のボール運びにプレスを掛けます。1 ショット決めておきたい東山は、西部選手が2回続けてエルボーにティーアップしてシュートするが入らない。その間隙について、明成がリバウンドから走った越田選手がランニングシュートを決めます。ファウルももらいます。東山がタイムアウト。越田選手が1 ショットも決めます。(59 対 54 の5点差)

さらに明成のプレスに東山がパスミスをしてしまい、越田選手がゴール下でポンプフェイクシュートに行くとジャンピエール選手がたまらずファウルを犯します。シュートも1 ショットも決まり、ワンゴール差になります。(59 対 57 東山リード)

ここで東山はしっかりボールを運び、中川選手のドライブショットをジャンピエール選手がリバウンドに行き、明成の越田選手のファウルを誘います。ワンショットも沈めて、62 対 57 となります。

直後に明成は、スクリーンを使って山内選手の3P シュートがさく裂します。(62 対 60) 東山はあわてず行きたいところですが、オフボールマンの足が止まり立ったままボールを受ける場面が増えます。そこを明成の山内選手がパスカットして、ドライブからのシュートを入れます。(62 対 62 同点)

続けて明成は、山崎一渉選手の3P もしっかり決まり逆転します。流れに乗る明成は、速いボール運びから山崎一渉選手が、右サイドからスクリーンを利用しカールカットしてランニングシュートを決めます。(62 対 67 明成5点リード) ここで東山タイムアウト。

何とか打開したい東山は、ジャンピエール選手がエルボーにティーアップして、外とボールを合わせて攻め、リバウンドに跳びシュートを決める。両チームシュートがリングに嫌われる中、東山の堀選手がゴール下を決めファウルももらいます。フリースローは落としますが、ジャンピエール選手がリバウンドからショットにいきフリースローを得ます。1 本決めて 67 対 67 の同点です。残り 59 秒。ここで明成は、山内選手渾身の3P 決めます。67 対 70 明成リード。勝負の行方は次号にします。